

# 人生の意味と宗教性

—前意味・無意味・超意味・脱意味

浦田 悠（名城大学）

日本心理学会 第72回大会（北海道大学）

WS「宗教心理学的研究の展開（6）」

2008年9月20日 13:00～15:00

# 宗教と人生の意味

## ◎ 宗教における人生の意味

- 「宗教によって人は、人生の意味を納得すると同時にまた、意味の発見へと動機づけられ、過去と現在を受容すると同時にまた、未来の創出へと励まされます」  
(脇本, 1997)
- 「人生の意味は、さまざまな次元の人生観、もっと狭義には宗教にかかわっている。それらは、神や英雄などに対するコスモロジーと、我々が語るナラティブに関連している」 (Smart, 2000, p.40)

→ 宗教は、人生全体に究極的で深淵な意味（宇宙的なメタナラティブ、究極的な価値、最大限の統合性）を与える (e.g., Davis, 1987; Quin, 2000; Runzo, 2000; Wong, 1998)

# 人生の意味の心理学

- ◎ 人生の意味の心理学（浦田, 2008）
    - ・ 尺度を用いた測定学的な研究
      - ・ PIL, LRI, SOC, PMP etc...
    - ・ 質的内容の分類の研究
      - ・ 「関係」「成長」「喜び」「奉仕」 etc...
  - ◎ 人生の意味と宗教
    - ・ 本来的に深く関連しているものの、心理学において、人生の意味に宗教が果たす機能についてはあまり検討されてきていない
- ⇒本研究では、人生観を捉えるモデルを紹介し、モデルを用いていくつかの事例を検討する

# 人生の意味の心理学モデルの構成



- 理論的な観点から，基本的な枠組をトップダウンで構成（**基本枠組**）
- 並行して，これまでの心理学における実証的な研究の知見をボトムアップで整理（**基本要素**）
- 基本要素と基本枠組を媒介し，包括的に関係づけるような基本構図を構成（**基本構図**）

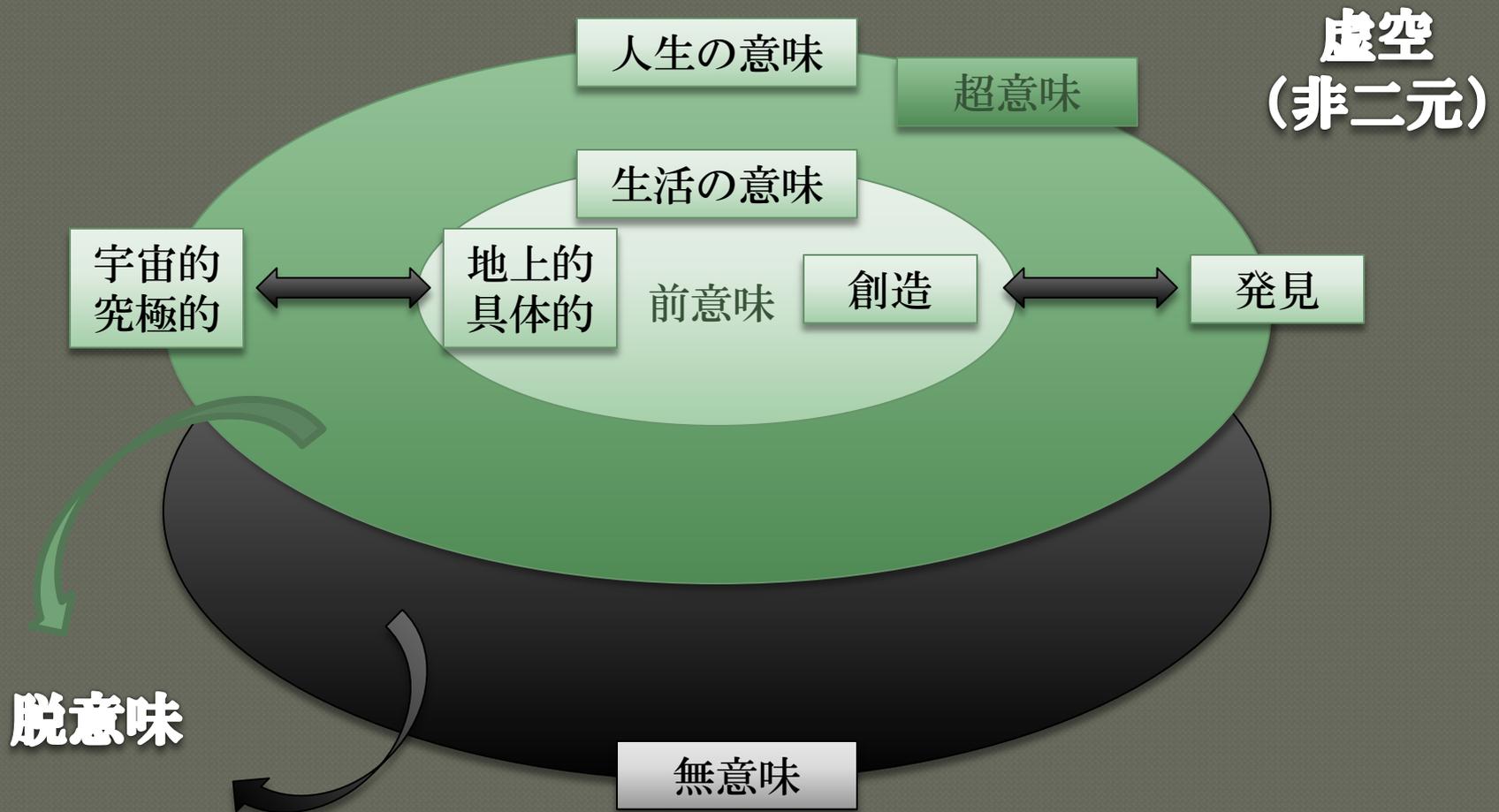
# 人生の意味の諸理論

概念	著者
究極の意味／地上的意味	Edwards (1981); Yalom (1980)
発見されるもの／創造されるもの	Baird (1985); Singer (1992/1995)
内発的／外発的	Wiggins (1988)
前意味／超意味／脱意味	山田 (1997)
身体的／道徳的／審美的／宗教的	Hick (2000)
客観的意味／主観的意味	Klemke (2000a); Smith (2000); Markus (2003)
個人的／宇宙的	Quinn (2000); Reker & Wong (1988)
内側の意味／外側の意味	Taylor (2000)
超自然主義／自然主義	Metz (2001, 2002, 2007)
究極の意味／暫定的意味	Farran & Kuhn (1998)
状況的意味／大域的意味	Folkman & Moskowitz (2000)

# 諸理論の整理

概念	概要
生活の意味 (meaning in life)	地上的・具体的で, 個人によって創造される意味
人生の意味 (meaning of life)	人生全体の意味。生活の意味を包含し, 究極的・宇宙的な次元(与えられるもの, 発見されるもの)までを含む。
無意味 (no meaning)	日常生活あるいは, 人生全体に意味はないとする立場
前意味 (pre meaning)	意味や生きがいが問題になる以前のあり方。意識ないし自我が未発達なために意味を問わない「意味以前」と, 意味を問うことなくともそこにすでに無意識的に意味が含まれている「前意味」が含まれる
超意味 (super meaning)	意味全体を成立させている意味の意味, 識閥外の意味を信じる立場
脱意味 (trans meaning)	意味と無意味という2つのあり方を脱して, 「何故なし」に生きるあり方

# 基本枠組



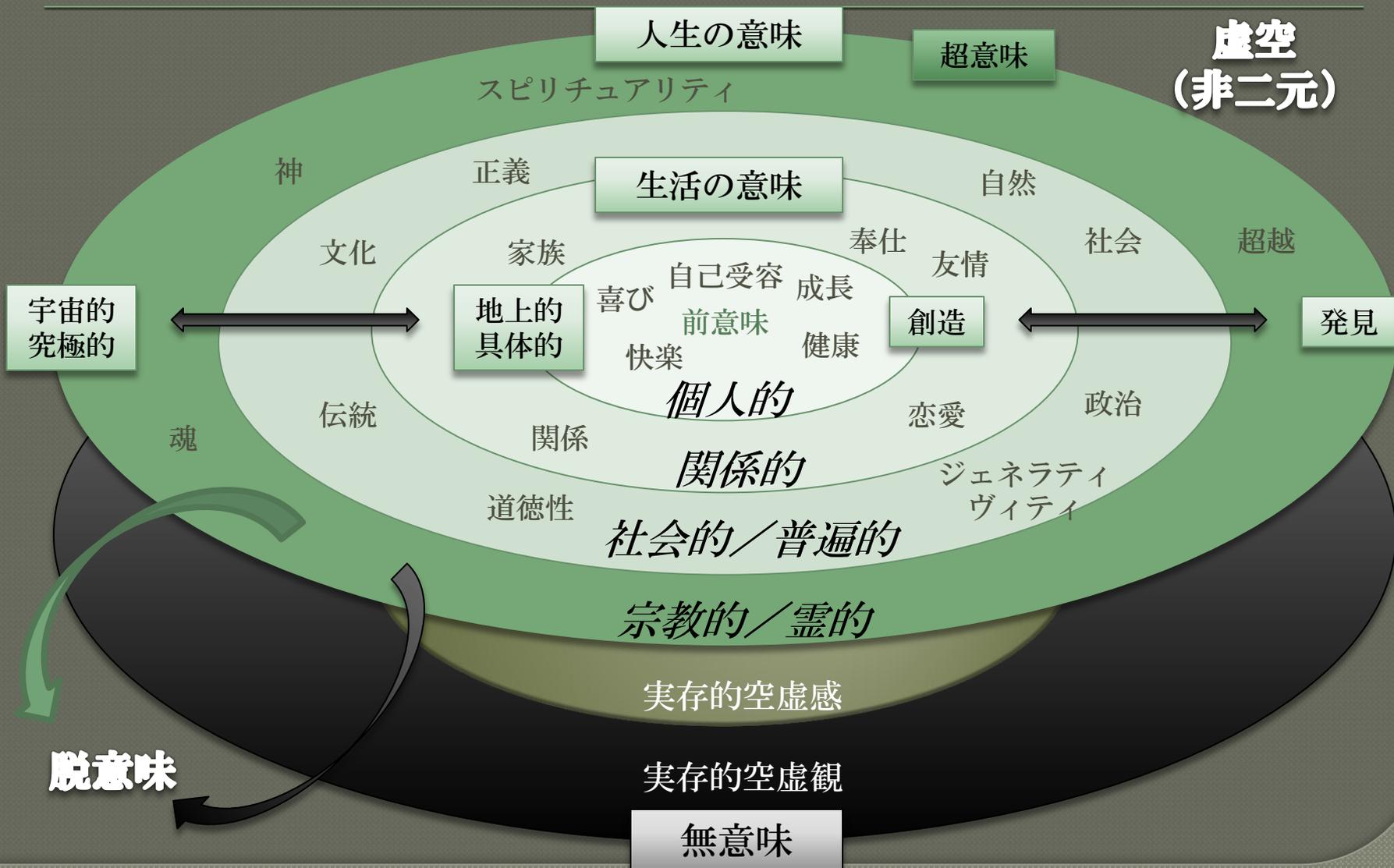
# 意味内容の先行知見

研究者	類型	地域
Battista & Almond (1973)	「対人関係」「奉仕」「理解」「獲得」「表現」「倫理」	アメリカ
Ebersole & DePaola (1987)	「関係」「奉仕」「信条」「獲得」「成長」「健康」「ライフワーク」「喜び」	アメリカ
O'Connor & Chamberlain (1996)	「人間関係」「創造性」「個人的成長」「宗教的もしくはスピリチュアル」「社会的もしくは政治的」「自然との関係」	ニュージーランド
Reker (1996)	「自己没入」「個人主義」「集団主義」「自己超越」	カナダ
Prager (1996)	「個人的な関係性」「個人的欲求の満足」「価値や理想の維持」「個人的成長」	オーストラリア
Debats (1999)	「関係」「ライフワーク」「個人的ウェルビーイング」「自己実現」「奉仕」「信条」「物質主義」	オランダ
Schnell & Becker (2006)	「自己超越」「自己実現」「秩序」「ウェルビーイングと共同性」	ドイツ
浦田 (2007)	「関係」「奉仕」「獲得」「成長」「ライフワーク」「喜び」「存在」	日本

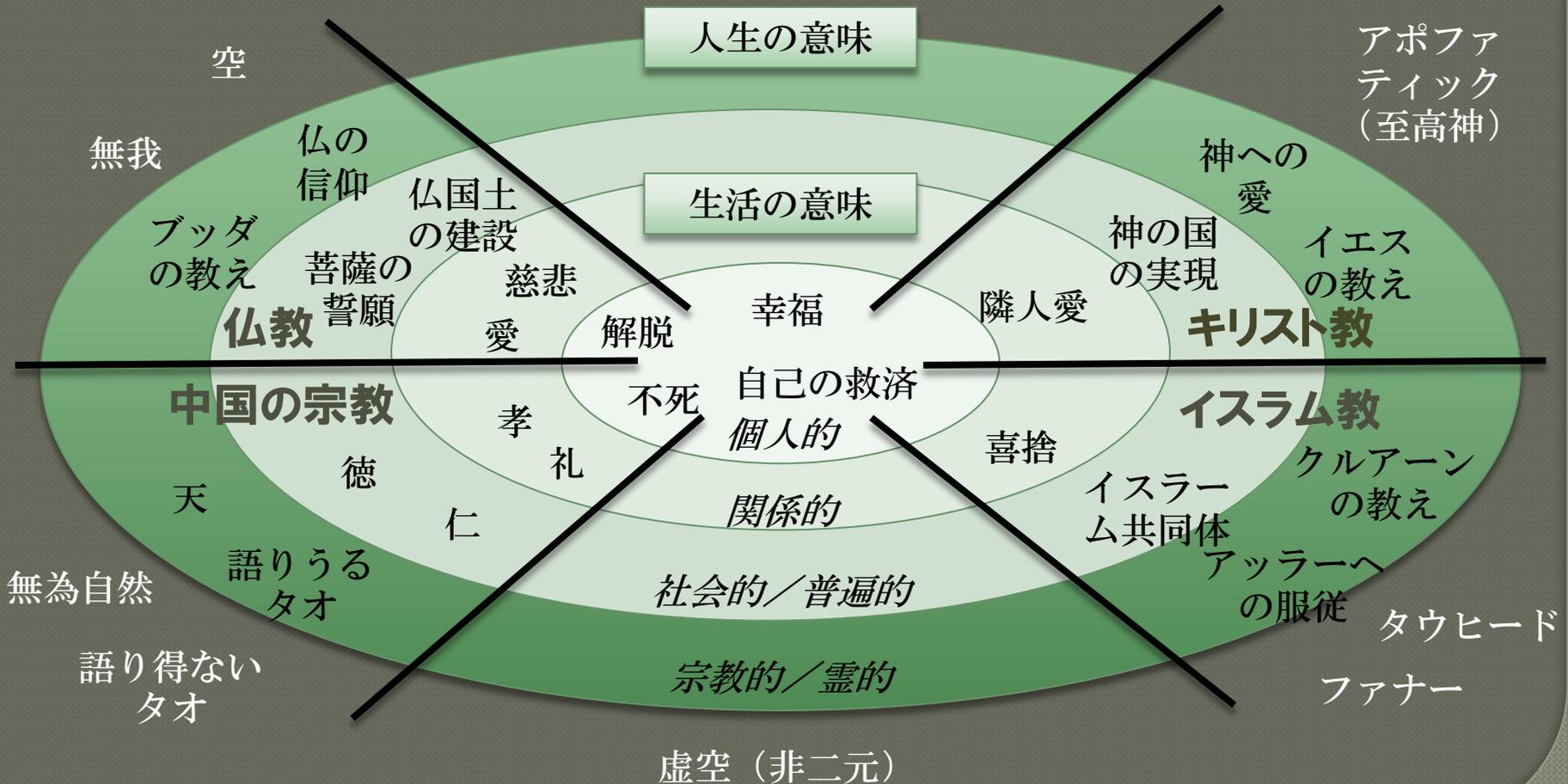
# 基本要素

基本原理	価値の方向性	意味の要素
個人的意味	主観的ウェルビーイング	健康 快楽 体験 生そのもの etc.
	自己実現	目標達成 責任性 成長 ライフ ワーク 理解 etc.
関係の意味	他者との共同性	関係性 友情 恋愛 奉仕
社会的／普遍的意味	集合的・普遍的な 価値	道徳性 真理の把握 社会への貢 献 自然との関係性 ジェネラ ティヴィティ etc.
宗教的／霊的意味	自己超越	宗教的信仰 スピリチュアリティ etc.

# 基本構図



# 諸宗教における人生観



# 人生の意味の分析

## ◎ 意味システム・アプローチ

- 人が人生の意味を構築することを，個人の認知的なネットワークの観点から捉えようとする意味システム・アプローチの展開

e.g. Pöhlmann, Gruss, & Joraschky (2006); Leontiev (2007)

⇒ 人生の意味に関する文章や語りの分析によって，それらの源のつながりを検討する

e.g. 「スポーツをすることによって，仕事で要求されることに全力を傾ける（ライフタスク）ためにリラックス（ウェルビーイング）し，再び元気を取り戻すことができる」

ウェルビーイング

ライフタスク

# 人生の意味についての語り 1

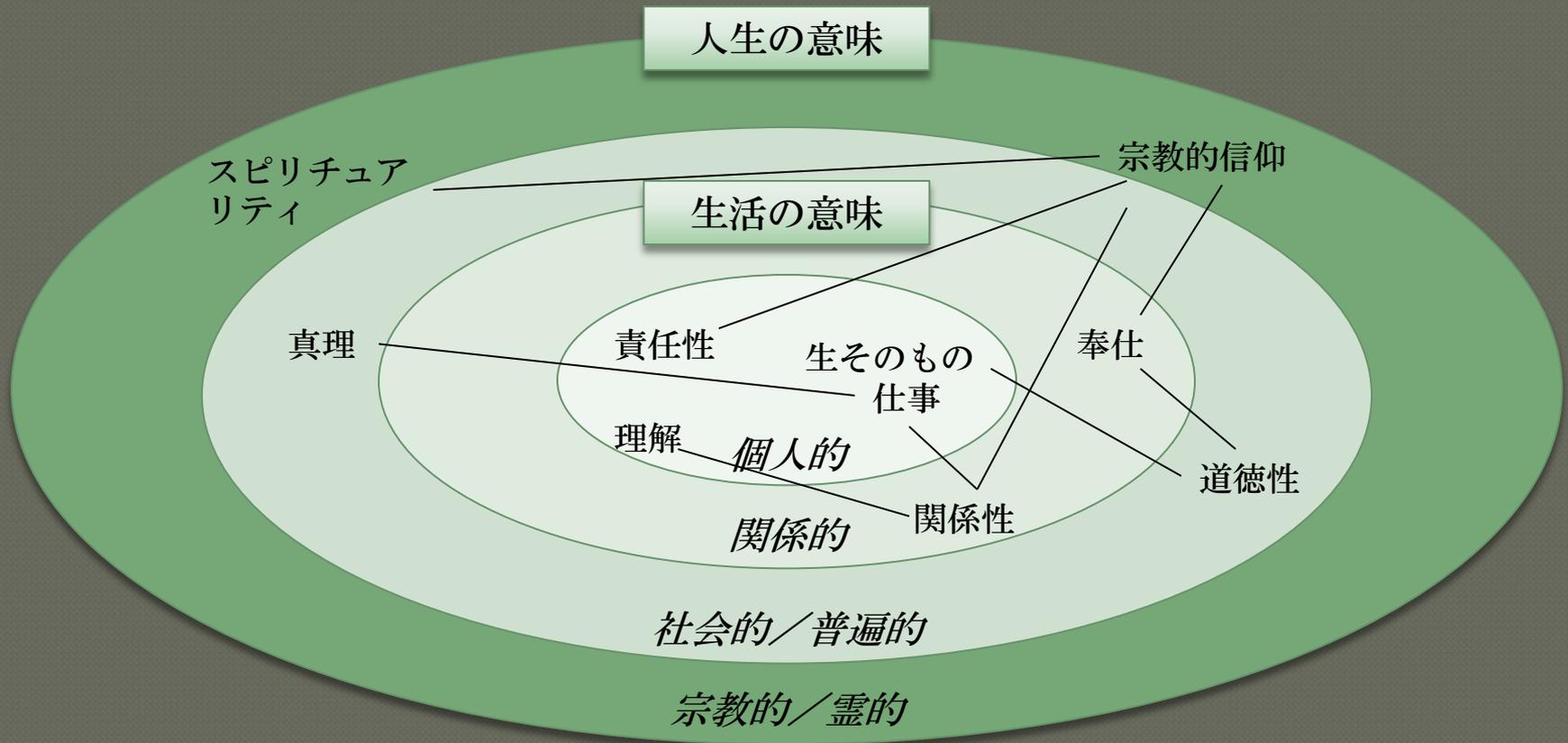
- マグワイアの事例 (Friend et al., 1991)  
(Mairead Corrigan-Maguire : 北アイルランド問題の平和的解決に取り組み, 1976年にノーベル平和賞を受賞)

私には、肉体と魂（スピリチュアリティ）があります。私は、ある時には身体的な命が奪われ、肉体が死ぬというのを知っています。しかし、私の魂（スピリチュアリティ）は、神によって創造された（宗教的信仰）ものであり、死ぬことはないのです。神の恩寵の力と神秘によって、神の愛の精神はどんな人の魂の中にも生きています。私たちは神から愛されており、私たちは神を愛し（宗教的信仰）、どんな人の中にも神の精神を見出し（スピリチュアリティ）、他者を愛し（関係性）、奉仕するため（奉仕）に創造されているのです。生きることにともなって与えられるたくさんの神からの贈り物（gift）があります。しかし、その中でも、自由意志（責任性）と愛（関係性）は、ひととき優れたものです。...

## ◎ マグワイアの事例（続き）

...自由意志には選択と責任性がともないます。私たちは、日常的に非常に重要な選択をしていかなければなりません。（中略）個人的には、私は生きることを選択します。私は、自分の生——すべての人の生——は、聖なる尊いものである（生そのもの）ことを知っています。このことは、私は他の人を殺してはならず、個人的、社会的な暴力を許してはならない（道徳性）ということの意味します。しかし、殺すことを拒絶するだけでは十分ではありません。（中略）積極的な非暴力を通じて、私たちは公平さのため、とりわけ、苦しみや貧困のため（道徳性）に働く（奉仕）ことができます。真実（真理）や愛（関係性）を通じて、私たちは自分自身や世界を変え（仕事）、私たちは愛し愛されるため（関係性）に生まれてきたことを深く理解する（理解）ことができるのです。（p.177）

# マゲワイアの人生の意味



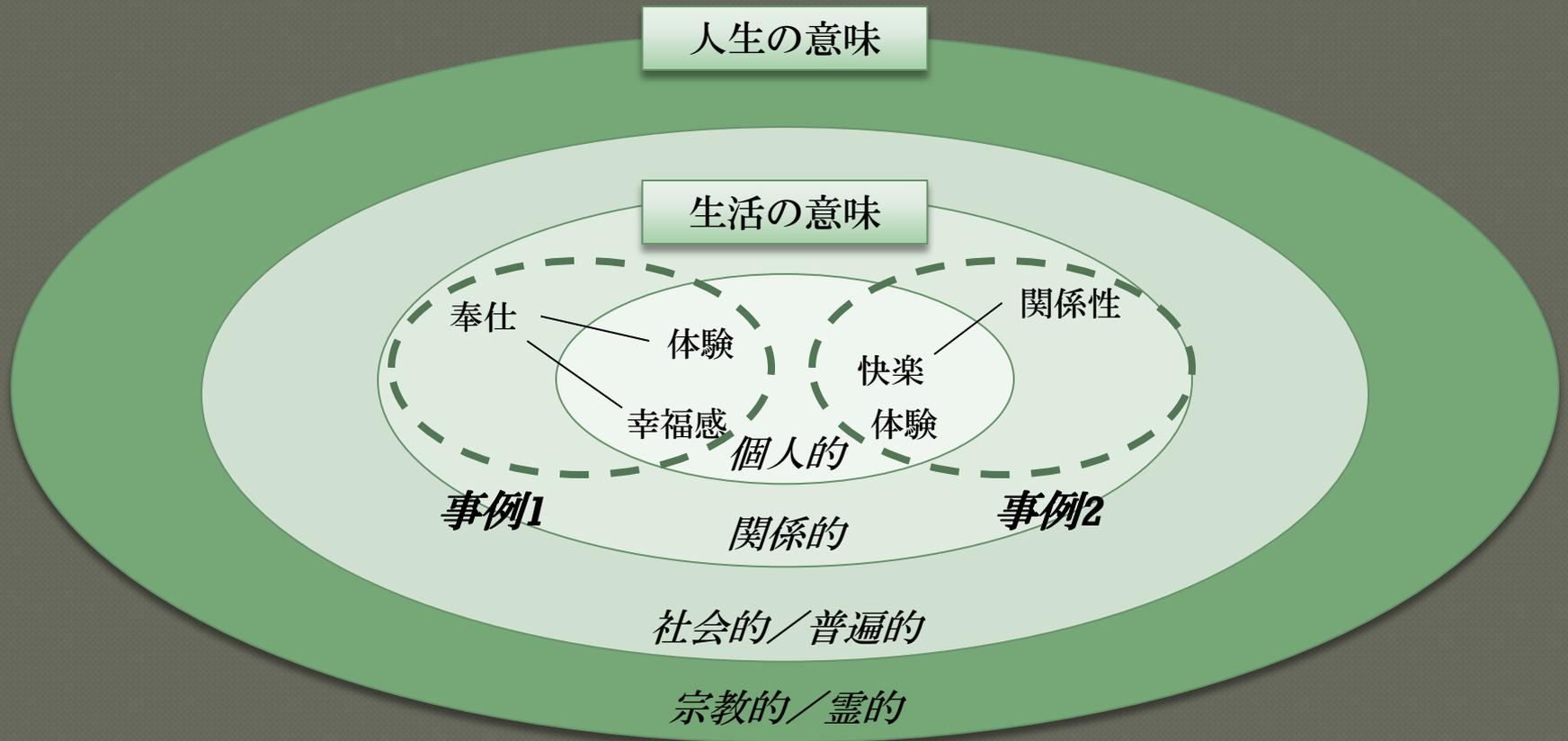
# 人生の意味についての語り 2

## ◎ 現代日本の青年の2事例

【事例1】 生きる意味は幸せになること（幸福感）だ  
と思います。またそのことから誰かの役にたち（奉  
仕），とてもたくさんの経験をしていくこと（体験）  
に意味があると考えます。（20歳，女子）

【事例2】 楽しむため（快楽）。自分の時間の資源を  
自分のために使う（体験）。たとえそれが他人のため  
の行為（関係性）であってもそれで自分の気分がよ  
くなるため（快楽）に。何となく気分がよい時に人に優  
しくする。そうするとその人にとって自分はいい人  
になる。何かと都合がよくなる。自分のために生活  
できる（体験）ほど意味があると思う。（20歳，女子）

# 現代青年の人生の意味



# まとめ

- ◎ 宗教的な世界観が提供する人生の意味は，単なる宗教的・霊的な意味だけでなく，個人的，関係的，さらには社会的／普遍的な意味をも保証する役割を果たす
- ◎ 個人的な文脈の中で，さまざまな人生の意味づけがなされ，宗教の持つ意味合いも，個人の意味システムの在り方（幅，深さetc.）によって多様となる
- ◎ 意味システムアプローチによって，リニアな人生観の発達論ではなく，個人の意味構築の在り方を詳細にみることが可能に

# 引用文献

- Baird, R. M. (1986). Meaning in life: Discovered or created? *Journal of Religion and Health*, *24*, 117-124.
- Battista, J., & Almond, R. (1973). The development of meaning in life. *Psychiatry*, *36*, 409-427.
- Davis, W. (1987). The meaning of life. *Metaphilosophy*, *18*, 288-305.
- Debats, L. D. (1999). Sources of meaning: An investigation of significant commitments in life. *Journal of Humanistic Psychology*, *39*, 30-57.
- Ebersole, P., & DePaola, S. (1987). Meaning in life categories of later life couples. *Journal of Psychology*, *121*, 185-191.
- Edwards, P. (1981). Why. In E. D. Klemke (Ed.), *The meaning of life*. (pp. 227-240). New York: Oxford University Press.
- Farran, C. J., & Kuhn, D. R. (1998). Finding meaning through caring for person with Alzheimer's disease: Assessment and intervention. In P. T. P. Wong & P. S. Fry (Eds.), *The human quest for meaning: A handbook of psychological research and clinical applications* (pp. 335-358). London: Lawrence Erlbaum Associates.

- 
- Folkman, S., & Moskowitz, T. (2000). Positive affect and the other side of coping. *American Psychologist*, **55**, 647-654.
- Friend, D., & Editors of life. (1991). *The meaning of life: Reflections in words and pictures of why we are here*. Boston: Little, Brown.
- Hick, J. (2000). The religious meaning of life. In J. Runzo. & N. M. Martin (Eds.), *The meaning of life in the world religions*. (pp. 269-286). New York: Oneworld Publications.
- Klemke, E. D. (2000a). Living without appeal: An affirmative philosophy of life. In E. D. Klemke (Ed.), *The meaning of life*. 2nd ed (pp. 186-197). New York: Oxford University Press.
- Leontiev, D. A. (2007). Approaching worldview structure with ultimate meanings technique. *Journal of Humanistic Psychology*, **47**, 243-266.
- Markus, A. (2003). Assessing views of life: A subjective affair? *Religious Studies*, **39**, 125-143
- Metz, T. (2001). The concept of meaningful life. *American Philosophical Quarterly*, **38**, 137-153.

- 
- Metz, T. (2002). Recent work on the meaning of life. *Ethics*, **112**, 781-814.
- Metz, T. (2007). New developments in the meaning of life. *Philosophy Compass*, **2**, 196-217.
- O'Connor, K., & Chamberlain, K. (1996). Dimensions of life meaning: A qualitative investigation at mid-life. *British Journal of Psychology*, **87**, 461-477.
- Prager, E. (1996). Exploring personal meaning in an age-differentiated Australian sample: Another look at the Sources of Meaning Profile (SOMP). *Journal of Aging Studies*, **10**, 117-136.
- Pöhlmann, K., Gruss, B., & Joraschky, P. (2006). Structural properties of personal meaning systems: A new approach to measuring meaning of life. *Journal of Positive Psychology*, **1**, 109-117.
- Quinn, P. L. (2000). The meaning of life according to Christianity. In E. D. Klemke (Ed.), *The meaning of life* (2nd ed., pp.57-63). New York: Oxford University Press.

- 
- Runzo, J., & Martin, N. M. (Eds.). (2000). *The meaning of life in the world religions*. New York: Oneworld Publications.
- Schnell, T., & Becker, P. (2006). Personality and meaning in life. *Personality and Individual Differences*, **41**, 117-129.
- Singer, I. (1995). 人生の意味——価値の創造（工藤政司, 訳）. 東京：法政大学出版社.
- (Singer, I. (1992). *Meaning in life: The creation of value*. New York: The Free Press.)
- Smart, N. (2000). The nature of religion: Multiple dimensions of meaning. In J. Runzo & N. M. Martin (Eds.), *The meaning of life in the world religions* (pp.31-46). New York: Oneworld Publications.
- Smith, H. (2000). The meaning of life in the world's religions. In J. Runzo & N.M. Martin (Eds.), *The meaning of life in the world religions* (pp.255-266). New York: Oneworld Publications.
- Taylor, R. (2000). The meaning of life. In E. D. Klemke (Ed.), *The meaning of life* (2nd ed., pp.167-175). New York: Oxford University Press.

- 浦田 悠. (2007). 生きる意味の類型・深さと実存的空虚感との関連——看護学生と大学生の比較から. 京都大学大学院教育学研究科紀要, 53, 181-193.
- 浦田 悠. (2008). 人生の意味の心理学——その歴史と展望. 人間性心理学研究, 25.
- 脇本平也. (1997). 宗教学入門. 東京：講談社.
- Wiggins, D. (1988). Truth, invention, and the meaning of life. In G. Sayre-McCord (Ed.), *Essays of moral realism* (pp.127-165). New York: Cornell University Press.
- Wong, P. T. P. (1998). Spirituality, meaning, and successful aging. In P. T. P. Wong & P. S. Fry (Eds.), *The human quest for meaning: A handbook of psychological research and clinical applications* (pp.359-394). London: Lawrence Erlbaum Associates.
- Yalom, I. D. (1980). *Existential psychotherapy*. New York: Basic Books.  
(Singer, I. (1992). *Meaning in life: The creation of value*. New York: The Free Press.)
- 山田邦男. (1999). 生きる意味への問い——V. E. フランクルをめぐって.